# 阿波市 議会だより

発行／阿波市議会　編集／議会だより編集委員会
〒771－1792　徳島県阿波市阿波町東原173番地
電話 0883－35－4118　FAX 0883－35－4150

第３号
平成19年２月１日

成人式（記念品授与）

## 阿波市の新春恒例行事　華やかに　さわやかに　凛として

成人式（実行委員）
1月2日、新成人355名が参加して華やかに、さわやかに

消防団出初式
阿波市の消防団出初式に各方面分団員が凛として
（吉野方面・七分団、土成方面・八分団、市場方面・八分団、阿波方面・八分団）

## もくじ

代表質問…… 2
一般質問…… 4
委員会報告…… 9
議決結果一覧表……11
可決なった主な議案の説明……11
活動状況報告……12
編集後記……12

市議会のホームページアドレスは　http://www.city.awa.lg.jp

# 阿波市議会
# 第４回（12月）定例会

平成18年第４回定例会は、12月４日から22日までの会期19日間で開かれました。

12月議会では、第１次阿波市総合計画基本構想についてほか、予算６件、条例５件、変更契約、指定管理等21議案が審議され、全議案が可決されました。

議員からは請願２件、地域活性化ＩＣ調査特別委員会設置についての議案が提出され、請願２件は継続審議となりました。

市政に対する一般質問は、会派代表質問等14名から行われました。

## 代表質問

（志政クラブ）
**月岡　永治　議員**

### Q 阿波市総合計画について

**問**　基本構想、計画案が答申され提案されているが内容は。

**答**　地方の時代を迎え今後の十年間の取り組むべき内容。少子高齢化進行、地方分権の進展等、厳しい財政状況などの課題に対応し自立した阿波市創造のための計画案です。

**問**　基本構想は十年、計画は五年となっているが実施計画はいつ、どのように進めるのか。

**答**　各部課の重点課題を早急にまとめて、十九年度当初から実施したい。この計画はローリング方式（三年ごとに見直す方式）を採用し、市民の声を反映し、子供から高齢者に至るまで、健康で快適な夢と希望の持てる阿波市を目指したい。

第一次阿波市総合計画
**わたしの阿波未来プラン**
「あすに向かって人の花咲くやすらぎ空間・阿波市」

### Q 教育行政について

**問**　いじめによる児童の自殺が続発し問題となっているが、本市での実情は。処理と対応策はどうしているのか。

**答**　本年四校の中学校、五校の小学校で各六件、計十二件のいじめがあった。小中、各五件は解消しており各一件は指導中。各校で文部省通達を受け、教育委員会、学校、保護者会など綿密に連携をして児童の心の悩みや訴えを掴みたい。

**問**　隠ぺい、教師のいじめなど問題があるが教育委員会、教職員は今後どのように対応していくのか。

**答**　担任の先生だけでなく学校全体、保護者、教育委員会がこれらの問題に真っ正面から取り組み、早急に発見、指導していく体制をつくる。教育委員会に（いじめ相談）（不登校適応指導教室）を開設する。

代表質問

## （アスカ21）三木　康弘　議員

**問**　処理場の東側にはすでに五億七千万円もの道路、集会所等の周辺対策を実施している。上板町からの加入申し込みがあった時、東側だけでなく西側の下喜来地区も半径一キロの円内であり、周辺対策を配慮してほしいと申し入れた。組合議会では議事録にどう記載されたのか。

**答**　地元（市場周辺対策協議会）の同意をもとに組合等での発言はしていない。上板町からの加入金五千万円、施設改修費五千万円。地元周辺対策事業費二億円は地元に理解いただかないと進まないので従来からの周辺地域とした。下喜来地区については今まで対象でなかったので一般事業として十分検討したい。

**問**　周辺対策費二億円という金額はそう簡単に捻出できる額ではない。例えば津田川島線と交差する徳島高速道のインターチェンジの一部に使うとか、もっと広域の利便や発展のために使うことも考えてほしかった。

**答**　インターチェンジ等の広域的事業については次回し尿処理施設を大改修するような時には総合的に検討されると思う。

**問**　施設の住所が市場岸ノ下二四五番地二地先とあるがここは旧阿波町平川原ではないのか。

**答**　議会後回答があり、平川原だが番地がないため、岸ノ下地先とした。

阿北環境整備組合

## （飛翔）吉川　精二　議員

**問**　平成十九年度当初予算編成と、阿波市内の平成十七年度の出生者は二百五十八名であるが、市内で出産の出来る産科病院医院への取り組みについて。

**答**　歳入につきましては普通交付税が、本年度比二・五％削減する見込みである。市民サービスの低下を招かないよう、市民の要望する事務事業に積極的に取り組む歳出予算を編成し、ケーブルテレビ事業・教育施設等の耐震化事業・住民に直結した道路等の生活基盤整備事業を実施すると共に、住民の要望に財源の許す限り取り組みたいと考えている。また、阿波市内にぜひ将来的に産（婦人）科が設置できるよう、取り組みを進めて行きたいと考えている。

**問**　国保税に関して、固定資産の評価の出来ていない取り組みについては、十九年四月の人事異動で固定資産評価の出来る人員を増員し、早くこの作業を終わらすよう、また収納率の向上についての取り組みはどうなっているのか。

**答**　収納業務あるいは評価も含めて体勢を充実して、皆さんのご期待に応えるよう最大限の努力を致したい。そういう方向で今後十分検討いたしたい。

**問**　ＣＡＴＶの将来展望として、第三セクター、指定管理者制度への考えをどのようにされているか。

**答**　だんだんと職員の数が減り、今土成や市場でしているようなサービスがずっと続けられるということはちょっと難しい。市としても自主運営・指定管理者・第三セクターを今後検討していきたい。

## 代表質問

（新政クラブ21）
**稲岡　正一　議員**

**Q**
**1、インターチェンジの新設について**
**2、長峰工業団地の利用について**
**3、阿波病院から西条大橋までの堤防中段の工事について**
**4、市場山野上古田線から以南への新設道路について**

**1に対する答弁**
高速道西日本大阪本社の方針は、基本的に「採算ペースに合うもの」と言うのが基本である。議会と協議をし、しっかりと調査をして、国へもお願いをして、インターチェンジができるように努力したい。

**2に対する答弁**
今後、景気も最近少し上向いてきたということもあり、積極的に県に働きかけ、誘致に努力したい。

**3に対する答弁**
香美吉野線の改良工事の請願が、十七年二月に県議会で採択され、十八年度は一千万円の事業費がついている。今後も要望を重ね、早く全線改良が進むよう努力したい。

**4に対する答弁**
末広の道路新設については、香美吉野線の目途がつかなければ南に延ばしても中途半端になる。当面は香美吉野線の改良に全力を尽くしたい。

県道香美吉野線（中央橋西辺り）

## 一般質問

（志政クラブ）
**笠井　高章　議員**

**Q**
**1、地場産業の育成について**
**2、市の物品納入について**
**3、市営住宅の入居について**

**問**　地域活性化のため、災害時に市と協力協定のある市内業者を優先して指名すべきでないか。

**答**　基本は地場産業を育成して良い仕事を適正な価格でしてもらう事で、そのために可能な限り地場の業者を優先指名したい。

**問**　公共事業の品質の保証や安全対策のため、最低制限価格の底上げが必要でないか。

**答**　県においては、再検討するという事である。市としても、それを参考に検討したい。

**問**　市の物品納入について、市内業者を優先すべきでないか。

**答**　市内業者を最優先に選定しているが五十万円以上の物品納入については、財務規則により五社以上の指名が必要である。そのために市内業者で五社に満たない場合は、市外業者を含めて指名競争入札を行っている。

**問**　市営住宅の入居については、旧町別に申し込み順に決めた方が公平と考える。現行では、くじ運の悪い人は先延ばしになる欠点があると考えるがどうか。

**答**　基本は公平公正でなければならない。今後とも、入居希望者の納得がいただけるよう検討してまいりたい。

北二条団地（Ｈ18年５月竣工）

一般質問

（志政クラブ）
## 江澤　信明　議員

### Q 1、阿波市の財政状況について
### 2、格差時代の阿波市の対応について

**問**　現在の阿波市の財政状況を市民の皆様に知ってもらい安心してもらう必要があり、今後交付金の削減などにより市の財政がどの様に変わると予想されるのか、また百八十億円規模となった決算を現在の監査委員制度で十分対応できるのか。

**答**　予算は適切に執行されており黒字決算で推移していますが、今後、三位一体改革で交付金の削減が予想されるので行政改革を進め効率的な財政運営を行います。監査制度については条例で定数は二名となっていますが監査委員の制度強化を議会と相談し提案してまいります。

**問**　地方自治体の財政力などの信用力格差時代に対応する市職員の能力向上に向けた政策はどうするのか。

**答**　市職員の能力向上の為、国、県の研修に財政課の職員が毎年参加をしております。県にも職員を出向させ、将来の阿波市を担う職員を養成すべく取り組んでいます。

　職員全体での財政問題の勉強会や研修会を開き財政運営に理解と協力をする職員集団となるように努力いたします。

（志政クラブ）
## 松永　渉　議員

### Q 新庁舎建設について

**問**　新庁舎建設の目的は何か。

**答**　行財政改革であるが、行政経費削減額は、算定していない。

**問**　庁舎建設後の支所の動向。

**答**　本庁方式を適用する。支所は廃止の方向で考えている。

**問**　建設費削減の方策は。

**答**　最大限の費用対効果が出せる施工方法を調査する。

**問**　建設する財政力は有るのか。

**答**　合併特例債を充当する。充当率、一般財源の確保、基金は今後協議する。

**問**　市民サービス向上の方策は。

**答**　ワンストップ窓口、ユニバーサルデザイン採用等検討する。

**問**　住民アンケートについて。

**答**　住民の代表である議会の意見を踏まえて、建設を進めたい。市民検討委員会は検討したい。

### Q 少子化対策について

**問**　産業建設課の取り組みは。

**答**　男女共同参画の環境づくりを推進し、働く場所確保の為に基盤整備、企業誘致等を進める。

### Q 高齢化対策について

**問**　高齢者の安くて安全、安心な移送手段構築への取り組みは。

**答**　一般高齢者の輸送については、バス、タクシー、スクールバス等利用効率、効果を考え、行政全般で検討する必要がある。

一般質問

（志政クラブ）
## 出口　治男　議員

### Q 雇用対策について

**問**　バブル崩壊後フリーター、パートの方多いが、皆正社員を望んでいます。優良企業を誘致して、生活基盤の整備をし、二十代三十代のこれからの阿波市を担う、優秀な人材の就職難を解消して、生活基盤の整備をしっかりすれば、人口減少に歯止めがかかるのではないか。今後、企業誘致を積極的・継続的に推進して、阿波市の活性化を図っていただきたい。

**答**　企業誘致に全力を挙げて、県と努力したい。又国に於いては中途採用者の促進、又派遣社員の正社員化への促進、若者の勤労意欲の定着化に、非常に力をいれている。

**問**　熊谷川の改修について。

　石積で漏水もあり、破堤の危険がある。阿波用水以南の土成・吉田地区の排水拠点である。旧土成町は四十年近く国県への改修の陳情を続けてきた。熊谷川の早期改修を要望してもらいたい。

**答**　排水計画の重要拠点で改修しなければ土成地区の排水対策ができない。今後も強力に行政活動を行いたい。県単事業から国補事業へ格上げし、早期改修に全力を挙げて努めたい。

**問**　排水問題阿波用水以南の吉田・藤原地区の排水問題（側溝の連結について）

　土成に大雨があると、吉野へ流れる。市になって一部連なりつつあります流末整備を含め、早期の抜本的改良を。

**答**　市になり、排水対策は非常に重要な課題。収水面積排水路計画につき、内部検討を十分し流末計画を進めたい。

**問**　吉田・藤原地区の排水問題について、西條大橋から土成インターへのバイパス建設にともなう排水問題について、抜本的な排水を兼ね備えた計画を。

**答**　西條大橋からのバイパスは排水路も兼ね、処理能力の対策を十分検討してまいりたい。

（志政クラブ）
## 篠原　啓治　議員

**問**　自主財源をどのように増やすのか？（削減ばかりでは夢がない）

**答**　市民の皆さんに暗い話しばかりではいけないので阿波市総合計画の実施プランの中で示していきたい。

**問**　振興計画の柿原堰を観光資源としてどのように活用するのか？

**答**　計画書につきましては、十分内部の中で煮詰めて、上部団体との折衝になると思う。充分検討をして進めてまいりたい。

**問**　農地パトロール（八月～十一月）の実績と方法。

**答**　阿波市農業委員会でパトロールをして遊休地、無断転用の調査をした結果、無断転用が百十筆あった。今後は、農業委員会と事務局が一丸となって法手続等の指導に当たるように努力する。

**問**　固定資産税の現況課税と認定手段に不公平があると思うが。

**答**　農業委員会と連携を密にして、協力を得ながらできる限りの方法で現況課税を行い、公平で適正な課税につとめたい。

**問**　阿波中央橋の架け替えについて。

**答**　老朽化しているので早期に整備できるよう全力を挙げて取り組みたい。

**問**　阿波市内の学級崩壊について。

**答**　四月以来二件の報告がある。先生の指導力の向上、資質の向上を研修を通して図っていきたい。

阿波中央橋

一般質問

（アスカ21）
## 岩本　雅雄　議員

### Q 県道志度山川線バイパス改良工事の進捗状況と今後の予定について

**問**　現在大規模農道より県道船戸切幡線まで工事が完了している。その北県道より北岸用水までは十九年度からと大変時間がかかっている。ルートの中に民家が何軒か有り、立退のコンサルが入って五年もたって、まだこれから何年かかるか分からない状態では行政の不手際の感がする。県道船戸切幡線より市役所前までどの位の期間があれば完成できるのか、具体的な答弁をいただきたい。

**答**　今後の予定として北岸用水の水路までの三〇〇ｍが十九年度から三カ年で実施する予定で、現在測量にかかっている。このバイパスの完成はいち早く望むもので、県の方へ予算の増額をお願いし、早期に完成をしたい。

**答**　国土交通省又四国整備局にも早期に改良してほしいという事を書類をつけて要望をしてきた。地元の熱意、困っている状況を伝えて、皆さんの思いが実現できるように最大限の努力をいたしたい。

志度山川線バイパス

（志政クラブ）
## 森本　節弘　議員

### Q 生活保護制度の現状と展望

**問**　社会保障制度の中で、重要な部分を占める、生活保護費の現状はどのようになっているか。

**答**　生活保護制度の原則は、厚生労働大臣の定める保護の基準で測定され、最低限度の生活が維持できない者に対して行う保護ということになっている。

　全国的な保護率は、昭和二十六年を最高に平成七年頃まで減少傾向で推移してきたが、平成十八年の数字は昭和五十五～五十六年頃の保護率にまで増加しており、尚横這い傾向にある。

　我が阿波市においても、増加傾向にあり、景気の動向により保護費への影響はあると思われる。

**問**　生活保護世帯への、自立支援はどのように考えているか。

**答**　やはり自立支援という意味からも対象者の意識改革を大切にし、阿波市福祉事務所を十分活用していただき、職場探しあるいは職場の選択等非常に難しい問題はあるが、国とも十分協力し、地域雇用という面からも支援のお世話をしてゆきたい。

一般質問

（志政クラブ）
正木　文男　議員

## Q 阿波市民文化ホールの建設について

**問**　市役所本庁舎は、この現庁舎を活用し、庁舎建設の変わりに阿波市統合のシンボルとして、また、文化、芸術活動の拠点施設として、地域住民の憩いや交流の場として阿波市文化ホールの建設を提言するが、市長の考えは。

**答**　文化ホールは、阿波市民の集いの場、研修の場として一日も早くつくるべきであると考えている。今後庁舎特別委員会や議会とも協議しながら共に知恵を出し合い、文化の香る町の拠点づくりとして、将来に悔いが残らないようなものをつくりたい。

**問**　いじめ問題の未然防止という観点から、学校カウンセラーが有効と考えるがその活用状況は、また、阿波市において給食費の滞納が発生しているのか。

**答**　カウンセラーは、市内四中学校に県から派遣されており、いじめの未然防止の観点からしっかり活用を図っていきたい。

給食費の滞納状況については、小中合わせて四校で未納が発生している。

**問**　現在、伊沢谷地域、大影地域で実施されている辺地対策事業について、取り組み状況と今後の取り組み方針は。

**答**　平成十七年から平成十九年の間に一億八千万円の改良工事を行うという計画になっており、それに基づいて実施している。今後においても、この整備計画は地域の均衡ある整備として重要な施策であると考えており着実に推進していく。

文化ホール（常陸大宮市）

（志政クラブ）
武田　矯（ただし）　議員

## Q 1、基本計画　2、資源の調査

**問**　基本計画の裏付けを（数値目標）、ＣＡテレビの維持管理は民営にするのか市がするのか。

**答**　十一月十七日に審議会の答申を得て策定。具体的内容は、今年度中に決める。ＣＡテレビは議員間でも十分協議を頂き、方法等ご指導願いたい。

**問**　外国人講師制度の導入について。小中学校の成果と経費は。

**答**　現在四中学校に四人（男女二人ずつ）アメリカから来ている。費用は交付税で国から出ており、今後とも続けたいと思っている。小学校には五人の日本人英語講師がいる。ＡＬＴについては今後とも続けたい。

**問**　十年間の基本計画の案は発表できないのか。

**答**　具体的な案については、現在各部・課に依頼し、取りまとめている。年度内に実施計画をまとめたい。

**問**　外国研修生制度というものがあれば利用してはどうか。

**答**　将来的には、できれば外国と姉妹都市を結んで交流ができればと思っている。

**問**　阿波市の水の資源、観光の資源、人的資源、物の資源、工場等々あらゆる資源の調査をして、阿波市に適した政策を上げてもらいたい。

**答**　基本構想は来年から十年間、基本計画は構想を踏まえた五年計画、実施計画は三年ごとのローリング方式。資源の調査は必要だが、必ず基本計画、実施計画には資源を踏まえた計画が上がってくる。

一般質問

（志政クラブ）
**木村　松雄**　議員

**問**　教員勤務実態による一カ月八十時間の時間外勤務について及びいじめの要因について。

**答**　学校教育は、教職員はとにかく奉仕者であり、子供たちを管理監督しなければいけない。また教育しなければならない立場にある。頑張っていただきたい。いじめの要因は何かという点。基本的には学級づくりだと考える。人を大事に友達を大事にするという人権教育を徹底したい。

**問**　**土成郷土歴史館の使用状況について。**

歴史館には、元総理三木武夫先生の記念常設展示もあり、また研修会場等の施設面も充実している。特色ある土成郷土歴史館を有意義に活用できないか。

**答**　平成五年に完成した資料館で、総展示数は二六七点、三木元総理関係資料の特別展示室もあり、県の博物館マップにも「土成歴史館」として出ている。一年間の展示室使用は八八四人、二階会議室は六、九八七人が利用している。

教育委員会社会教育課へ申し込めば、必要な場合学芸員が展示室案内の手続きもできる。

文化財保護審議委員会、歴史館運営審議委員会の場で協議しながら、利用しやすい施設となるよう努力したい。

土成郷土歴史館

# 総務常任委員会委員長報告

本委員会に付託された九議案について、去る十二月十五日に委員会を開き、審査の結果、九議案を原案のとおり可決しました。その審議の主なものを報告します。

**質疑**　国民健康保険税条例の一部改正で、二年間はこれで行くのか。

**答弁**　努力をしてみて、最終的に不足になれば一般会計より繰り入れるということでご理解いただきたい。かなりの差があるので、まず不均一課税の改正の第一歩ということで今回お願いしている。

**委員会の付帯決議**

一、「平成二十一年四月から新たな見直し案で課税する」との市長の提案をより確かなものとするため、二年間で調査の遅れている未評価の家屋調査を実施すること。

二、有利な国庫補助金を得る条件とされる、徴収率九十二％を確保するよう最大限の努力をすること。

**質疑**　今の時代はまず、自助、共に助け合う共助、どうしてもできない者については公助という順でないか。これからの行政は限られた住民サービスしかできないと、はっきり明記するべきでないか。

**答弁**　基本構想の全体の理念は参画、共働きからはじまっている。

## 文教厚生常任委員会委員長報告

当委員会に付託された補正予算、条例改正、請願等十件について、去る十二月十八日に委員会を開き、請願二件を継続審査とし、その他八議案は原案のとおり可決しました。その質疑の主なものを報告します。

**質疑**　統一して二年幼稚園にするのか。

**答弁**　旧阿波市と吉野では五歳児のみの幼稚園受け入れであったが、今回全幼稚園で四歳・五歳児を受け入れるということで統一した。四歳児については保育所でも幼稚園でも選択できることになっている。

**質疑**　生活保護費について、四分の一の、一般財源からの繰り出しは、国からどのように補填されるのか。

**答弁**　地方交付税に計算上、算入されることになっている。

**請願**　産業廃棄物から自然環境と生活環境を守るための請願については、阿波市環境基本条例についての、専門家の見解を含めた理事者の意見を聞き、なお十分審査の必要があるということで、継続審査と決定した。

**請願**　阿波中学校校舎改築への早期着手についての請願も、まだまだ検討審査する事項があるということで、継続審査と決定した。

## 産業建設常任委員会委員長報告

当委員会に付託された案件は補正予算三件、条例の制定一件、改正二件についてあり、十二月十九日に委員会を開き、審査の結果、原案通り可決しました。主な質疑と答弁は次のとおりです。

**質疑**　浚渫した泥、刈り草等の産廃処理の方法については。

**答弁**　市場、阿波地区に一時保管場所で自然乾燥、数量を減らし産廃業者に搬出処理している。

**質疑**　農業振興としてＪＡに対し補助金を出しているが、市の補助金カットの対象となるのか。

**答弁**　市の上乗せ分がないと事業採択にならないため補助金カットの対象にはならない。

**質疑**　土成地域活力工房の指定管理者の募集に対し、一団体応募があったが、なぜ取り下げられたのか。

**答弁**　応募団体の内部で十分話し合いがなされないまま提出されたとの理由で取り下げられた。

**質疑**　市水道事業給水条例の一部改正について、市内統一料金の決定はどのようにされたのか。

**答弁**　料金改定審議委員会に諮問し、その答申を受けて決定した。

**質疑**　施行期日がなぜ十九年五月分から適用されるのか。

**答弁**　十九年四月の検針分から新料金となる。その支払い月が五月分からとなるためである。

# 平成18年第４回　阿波市議会定例会　議決結果一覧表

| 議　　案　　名 | 議決年月日 | 議決結果 |
|---|---|---|
| 第１次阿波市総合計画基本構想について | H18.12.22 | 原案可決 |
| 平成18年度阿波市一般会計補正予算（第４号）について | H18.12.22 | 原案可決 |
| 平成18年度阿波市国民健康保険特別会計補正予算（第３号）について | H18.12.22 | 原案可決 |
| 平成18年度阿波市老人保健特別会計補正予算（第２号）について | H18.12.22 | 原案可決 |
| 平成18年度阿波市介護保険特別会計補正予算（第３号）について | H18.12.22 | 原案可決 |
| 平成18年度阿波市農業集落排水事業特別会計補正予算（第２号）について | H18.12.22 | 原案可決 |
| 平成18年度阿波市水道事業会計補正予算（第１号）について | H18.12.22 | 原案可決 |
| 土成地域資源活力工房の設置及び管理に関する条例の制定について | H18.12.22 | 原案可決 |
| 阿波市多目的研修集会施設及び集会所の設置及び管理に関する条例の一部改正について | H18.12.22 | 原案可決 |
| 阿波市国民健康保険税条例の一部改正について | H18.12.22 | 原案可決 |
| 阿波市立幼稚園保育料徴収条例の一部改正について | H18.12.22 | 原案可決 |
| 阿波市水道事業給水条例の一部改正について | H18.12.22 | 原案可決 |
| 徳島県後期高齢者医療広域連合の設立について | H18.12.22 | 原案可決 |
| 阿波市立阿波図書館の指定管理者の指定について | H18.12.22 | 原案可決 |
| 阿波市立市場図書館及び阿波市立市場歴史民俗資料館の指定管理者の指定について | H18.12.22 | 原案可決 |
| 阿波市立土成図書館及び阿波市立土成中央公民館の指定管理者の指定について | H18.12.22 | 原案可決 |
| 阿波市立吉野笠井図書館の指定管理者の指定について | H18.12.22 | 原案可決 |
| 阿波市ケーブルテレビ施設整備工事（第１工区）変更請負契約の締結について | H18.12.22 | 原案可決 |
| 阿波市ケーブルテレビ施設整備工事（第２工区）変更請負契約の締結について | H18.12.22 | 原案可決 |
| 阿波市ケーブルテレビ施設整備工事（第３工区）変更請負契約の締結について | H18.12.22 | 原案可決 |
| 地域活性化インターチェンジ調査特別委員会設置について | H18.12.22 | 原案可決 |

## 可決なった主な議案の説明

### 第一次阿波市総合計画基本構想について

「あわ北新市まちづくり計画」の施策並びに市民ニーズの動向や社会経済情勢の変化を十分に踏まえ、自立した地域経営を推進するための総合指針として策定されました。

### 平成十八年度阿波市一般会計補正予算（第四号）について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ四億五千七百万円を追加し、歳入歳出予算の総額は百九十一億六千四百三十九万円とされました。

### 平成十八年度阿波市国民健康保険特別会計補正予算（第三号）について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ三億三千八百五十二万二千円を追加し、歳入歳出予算の総額は四十二億六千九百四十七万八千円とされました。

### 平成十八年度阿波市老人保健特別会計補正予算（第二号）について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ四百万円を追加し、歳入歳出予算の総額は五十二億四千八百万円とされました。

### 平成十八年度阿波市介護保険特別会計補正予算（第三号）について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ一千八百三十二万二千円を追加し、歳入歳出予算の総額は三十六億百五十八万五千円とされました。

# 活動状況報告

## 新築なった御所小学校を視察

12月22日、文教厚生委員を中心に、議員が御所小学校を視察しました。

これまでの学校のイメージを塗り替えるような外観。しかし校舎内は木のぬくもりと太陽の光に満ちた明るい施設となっています。

施設内はバリアフリーとして、車椅子も配置され、福祉面の充実が図られています。

高学年棟

### 御所小学校校舎・屋内運動場改築工事概要

■建築場所／阿波市土成町宮川内字広坪89番地
■建築構造／校舎…木造・一部鉄筋コンクリート造２階建
　　屋内運動場…鉄筋コンクリート造・一部木造
■建築面積／校舎…床面積 2,501㎡
　　屋内運動場…床面積 968㎡
■施設の概要
校舎／普通教室（８室）
　　特別教室（８室）
　　理科室・家庭科室・図工室・音楽室・図書室・コンピュータ室・教育相談室・多目的室
　　その他（７室）
　　職員室・校長室・保健室・会議室・資料室・放送室・配膳室
■事業費及び施工業者
　事業費 763,833,000円
　（内訳）設計監理費 18,333,000円　㈱岡島設計事務所
　　本工事費　745,500,000円　佐々木建設㈱
■工期／着工…平成17年10月29日
　　竣工…平成18年10月31日

音楽室

一般教室

## 編集後記

新年明けましておめでとうございます。平成十九年が市民の皆さまにとって素晴らしい年になる事を願っております。

阿波市においては、昨年の十二月議会で、十年後の阿波市のあるべき姿を示した基本構想、及び五年間の基本計画が策定されました。そして今年三月には、具体的な実施計画が出来ます。いよいよ阿波市が動き出しました。議会としても、厳しい財政状況の中での施策を検証、評価し、夢のあるまちづくりに取り組んでいかなければなりません。また、四月一日からケーブルテレビ網が、阿波町、吉野町にも整備され、議会活動が全市に放映される事になります。これを機に議会経費削減も考え「議会だより」は、広報「阿波」の中に折り込むことになりました。一月四日の徳島新聞の全国世論調査によりますと、「議会に不満、六一％」「活動が住民に伝わらない、五三・三％」この調査結果を真摯に受け止め、議会広報特別委員会は、情報公開と説明責任を果たすべく、市民の目線に立った広報活動に努め、皆さんにご理解頂けるよう努力いたします。今後ともご指導、御協力をお願いします。

古紙配合率100%再生紙使用
※この広報誌は、古紙配合率100%の再生紙を使用しています。